

# 学びの 広場

地域で学び、活動する  
皆さんを応援します  
北秋田市教育委員会

- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ



## 「おらほの学校応援し隊」活動紹介②

～前田小学校「冬休み学習会」～

前田小学校（嶋田美香校長、児童 67 人）の冬休み学習会が12月26日・27日、1月10日の3日間、同校で開催され、延べ82人の児童が参加しました。夏休みに続き2度目の開催となる今回は、地域の方々やPTA会員ほか、同校卒業生で大館工業高校3年の片岡勇輝さんら6人が「おらほの学校応援し隊」として子どもたちの自学学習を見守り、学習支援活動を行いました。

子どもたちは2時間にわたり各自の学習を進め、学校応援し隊の皆さんは、学習を見守りながらヒ

ントや糸口を示すなど、温かい雰囲気の中で問題解決できるよう応援しました。



▲学習を見守る「おらほの学校応援し隊」の皆さん

## 一度は受けてみたい授業

～冬の笑楽校（しょうがっこう）2013～

今年で2回目となる北秋田市「冬の笑楽校」が1月12日、中央公民館で開かれ、小学生から大人まで42人が参加し、年代や学校の枠を超えて地域の先生による授業を楽しみました。

スイーツマグネットを作製した図工、速く走る方法を学んだ体育、家庭科の調理実習で作った料理を味わった給食の後、午後は秋田大学による「スペシャル！理科実験」が行われました。

理科実験では、秋田大学教育文化学部の石橋研一教授や学生が各ブースに分かれ、参加者と交流

しながら、「地震や津波の実験」などを小学生にもわかりやすく解説しました。



▲実験を通じて津波の仕組みを学ぶ参加者

## おはなしのプレゼント

～読み聞かせボランティア ピッコロ～

読み聞かせボランティア「おはなしピッコロ」のクリスマスおはなし会が12月16日、合川公民館で開かれ、幼児や小学生、父母ら60人が参加しました。

この日は、大型絵本の読み聞かせや手品、ペープサート（紙の人形劇）のほか、風船をひねったりつなげたりするバルーンアート遊びやハンドベル演奏などを楽しみました。

また、合川地区に赴任しているALTのショーン・コリガンさんがサンタクロースに変身して登場。子

どもたちにプレゼントを配るなど、会場は笑顔あふれる会となりました。



▲子どもたちにバルーンアート遊びを披露

## 学びの広場

### 中央公民館一般公開講座&高齢者大学合同講座

開 催 生涯学習課 ☎62-6618

#### ■地域・元気が UP!セミナー

「食文化の和・輪・話」

「食の安全」と「郷土の食」をとおり、生きがいをづくりを探り、地域のつながりを考えましょう。

日時 2月18日(月) 14時～16時

会場 交流センター講堂

対象 市内高齢者大学生、一般の方

参加料 無料

内容 【研究発表】「発見！古くて新しい北秋田の味プロジェクト」

発表者／秋田北鷹高等学校家庭クラブ

【講演】「食文化とわたしたち」

講師／泉牧子氏（農林水産省6次産業化ポランタリープランナー）

### 合川公民館公開講座

開 催 合川公民館 ☎78-2114

#### ■第2回合川ろばた講座

身近な経済について学びましょう。皆様お誘い合わせのうえおいでください。

日時 2月22日(金) 13時30分～15時

会場 合川農村環境改善センター

演題 「秋田県経済と「デフレ脱却」

講師 清水誠一氏（日本銀行秋田支店長）

参加料 無料

### 阿仁公民館短期講座

開 催 阿仁公民館 ☎82-2220

#### ■簡単！男の料理教室

期 日 2月6日(水)、21日(木)

時 間 10時～正午

会 場 阿仁公民館

講 師 伊藤久子氏

定 員 10人

参加料 材料代500円程度

持ち物 エプロン、三角巾、筆記用具

#### ■はつらつ健康体操

期 日 2月1日(金)、8日(金)

時 間 10時～正午

会 場 阿仁公民館

講 師 高杉春枝氏

定 員 20人

参加料 無料

持ち物 ズック、タオル

※動きやすい服装で参加ください



### おはなし会「おはなしの会」

開 催 鷹巣図書館 ☎62-3311

毎月第3土曜日に、おはなし会を開催しています。お気軽においでください。2月は次のとおりです。

日時 2月16日(土) 14時～

会場 文化会館会議室

内容 絵本の読み聞かせや紙芝居

対象 幼児～小学生、その家族等

参加料 無料

## ふるさとの文化財

59

### 北秋田市指定有形文化財(工芸)

#### ○「鉦鼓(1個)」

- ◇所在地 坊沢
- ◇管理者 個人所有

坊沢村浄心寺(一向宗)の青銅製什物です。直径24cm、高さ6cmで、通称「カネゴ」と呼ばれるものよりひとまわり大きく、重々しくしっかりしていて、一般に浄土系在家で所有しているという。

裏面には「出羽比内房澤村浄心什物延宝8年(1680年)庚申2月15日天下一出羽大掾宗味作」と刻まれています。

作者の出羽大掾宗味は、京都の西村派の鋳物師と考えられ、『秋田県史』に「宝永の初め京大仏から来た西村左近大春と出羽大掾宗味の二人は、面瀉村(現八郎瀉)の一向堂で死亡しているが、同寺にはその記録もあり、打鐘、鉦鼓等の名作が残されている」とあります。

◇坊沢村浄心寺は、延宝8年の坊沢打直検地帳に「屋敷15・2畝10歩浄心庵」とあり、元禄年中(1688年～)「阿弥陀堂」と改称された



▲直径24cm、高さ6cm、青銅製の鉦鼓

後に廃庵となったということです。  
◇什物(じゅうもつ)  
寺院や僧団が所有し日常使用したいろいろな器具で、由緒ある寺院の宝物をいう。什宝、什器ともいう。

◇鉦鼓(しょうこ)  
大鉦鼓、荷鉦鼓、釣鉦鼓の三種類があり、仏家で台につるしたり、または台座にのせて、村の葬式の時隣近所の人に死者の旅立ちを知らせるために叩く鐘(かね)です。  
▽平成元年10月1日指定文化財  
▽資料／「鷹巣の文化財」、「鷹巣町史」、「文化財類型調査基本カード」  
「日本史辞典」ほか  
▽紹介者／北秋田市文化財保護審議会委員 照内捷二